

出水市

DATA

【人 口】 【面 積】 【職員数】

ロ】 51,438人(R6.12.1現在) 積】 329.98平方キロメートル 数】 923人(R6.4.1現在)

≪発表のテーマ≫

DXマニュアル(庁内ヘルプデスク業務省力化・効率化)

<発表概要or今年の取組みの特徴>

何かと庁内からの対応に追われがちなシステム管理部門ですが、 マニュアルを作成し、庁内に共有することで、対応時間を減らし、 よりリソースを割くべき業務に集中できるようになりました。

VBA機能やリンク機能を活用し、目的のページにアクセスしやすいマニュアルであるとともに、ログを解析することで、どのページが多く見られているか分析もできます。

<改善運動の特色やアピールポイントなど>

本市では庁内の改善意識の高揚を目的に、毎年各課1件以上の業 務改善に取り組み、その中から本発表会に参加する事例を選定して います。

今回発表する内容は、新たなコストをかけずに所管課の問題を解決するもので、全庁的な展開により職員全体に少しずつ効果が及んでいます。

これからも改善を加えて、効率化を図りたいと思います。

<メッセージ・意気込み>



出水市長 椎木伸一

自分たちの業務の中にある「変えたい!」や「手がかかる。。」をきっかけに業務改善に取り組んだ事例です。

改善に対する熱い思いを全国の仲間と共有してきてください。



部署名 タイトル

鹿児島県出水市 政策経営部DX推進課

DXマニュアル (庁内ヘルプデスク業務省力化・効率化)

改善前 【Before】

職員からシステム管理部門への内線電話による問合せが多く、問い合わせをする職員、それに対応する職員それぞれ1件当たり10~30分程度の時間を要していた。

自治体システム標準化やDX推進を進める上で、問合せ対応に時間を割くことが難しくなっていた。









業務でPCを使っていると困りごとが発生

電話での問合せ対応が増加

マニュアルを整備

- ・マニュアルを庁内に共有し、困りごとが発生した時に<mark>皆がすぐに参照</mark>できる。
- ・ExcelのVBA機能、リンク機能を活用し、アクセスしたいマニュアルに<mark>すぐアクセス</mark>できる。
- ・ログによりマニュアルの<mark>利用状況の把握</mark>ができる。
- ・活用してどうだったか(わかりやすかったか等)を**フィードバックすることが** できる。
- ・あわせて、問い合わせをする際には極力内線電話ではなく、グループウェアを 活用して問い合わせをするよう周知。

取組内容



みんなが参照しやすいマニュアルを整備

お疲れ様です。

DX推進課では現在市のDXの推進や自治体情報システムの標準化等に取り組んでいるところであり、ヘルプデスク業務(○○ができない、○○するにはどうしたらいいの?等の問い合わせへの対応) についてなかなか時間を割くことができない状況です。

つきましては、DX推進課への問い合わせの省力化・効率化をはかるため、 DXマニュアルを作成しました。

保存場所はこちら

(V:¥0000 全課共通¥DXマニュアル)

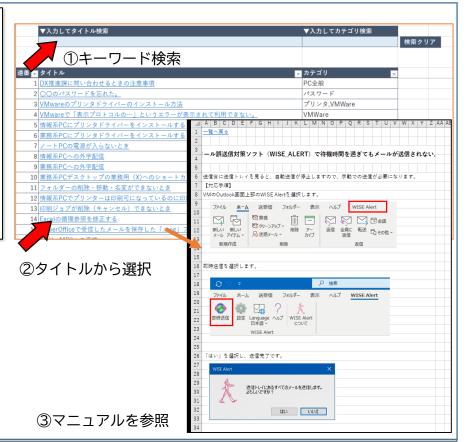
現在は35の項目を掲載していますが、今後随時内容を更新し充実させていく予定です。

DX推進課へ問い合わせをする前に、上記のDXマニュアルを確認、インターネット等を活用してまずは各自で調べて対応をお願いします。管理者権限を必要とする場合か、DXマニュアル等で対応できない場合で問い合わせが必要な際には引き続き、原則としてメールでの問い合わせをお願いします。

なお、パソコン等の修理については、R6.5.20の掲示板 で依頼のための 申請書の運用について、周知していますので、併せてお願いします。

DX推進課(3611,3612)

グループウェアの掲示板で マニュアルを周知



取組内容

効果 【After】

(改善の成果 ・取組の効果) DX推進課への内線電話による問合せが減少し、よりリソースを割くべき業務に集中できるようになった。問合せの傾向やマニュアルの利用状況がわかるので、分析を行い、内製しているためマニュアルのブラッシュアップが自前で可能となり、業務のさらなる効率化を図ることができるようになった。また、DX推進課以外の職員もマニュアルを参照することで問い合わせることなく自ら問題解決することができるようになった。



電話対応に追われず仕事に集中できる!